

# 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 6 月 29 日

仕 事 の 内 容	移動支援事業				
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉係	係	課長名 小川 則之

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 障害者福祉の推進

(総合計画書 55 ページ)

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉	目 4	障害者福祉費	事業 7	地域生活支援事業	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 身体(身体1・2級の車椅子利用者、視覚障害者)・知的・精神障害者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 対象となる障害者数(身体(肢体不自由1・2級、視覚障害)知的・精神障害者)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 障害児・者への移動支援を行うことで、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動等の社会参加を促す。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 利用者数/対象となる障害者数			
	③ そのために何をしましたか。 屋外での移動が困難な障害児・者に対して、市に登録した事業所が移動支援を行うヘルパーを派遣した場合、給付費を支給することで、障害者の社会参加を促進する。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 利用者数			

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	2,114	2,180	2,248	/	/
	成果指標	②の数値	%	7.7	8.9	8.8	/	/
	目 標	②の目標値		/	/		/	/
			目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値		162	194	197	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	40,821,021	41,750,487	43,343,712	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源		円	19,354,021	20,962,487		23,222,712
		特定財源		円	21,467,000	20,788,000		20,121,000
			(うち受益者負担)		円	0		0
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.50	0.5		0.5
		所要人数(再任用)		人				
		職員人件費(再任用以外)		円	4,116,500	4,133,500		4,126,500
		職員人件費(再任用)		円				
		事業費+人件費		円	44,937,521	45,883,987	47,470,212	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	・移動支援は当初、視覚障害者のガイドヘルプが行われていたが、平成15年の支援費制度により知的障害者、全身性障害者にも拡大された。平成18年10月の障害者自立支援法施行により、地域生活支援事業の必須事業と位置付けられ、当市では身体(車椅子利用者、視覚障害者)・知的・精神障害者を対象として実施した。 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・支援費制度で知的障害者に対象が広がり、飛躍的に利用者が増えた。その後、児童の利用も増えている。 ・平成23年10月の支援法改正により、視覚障害者の移動支援が障害福祉サービスの同行援護になったため、対象者はやや減った。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	・事業所登録数は30カ所を超えているが、定期的なサービスでないため、時間や内容によってはヘルパー派遣ができないケースもある。派遣の条件や利用時間制限について、緩和を求める声がある。	

仕 事 の 内 容	移動支援事業				
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉係	係	課長名 小川 則之

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
7 課題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。			
	利用者に特段の事情が生じた場合は、一時的に支給上限を超えた時間数を支給決定している。より柔軟な運用ができるよう検討した。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。			
移動支援の時間数について、不足しているという要望がある。				
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性（「7 課題（2）」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	既存の支給決定時間数を変更することなく、利用者がより一層利用しやすい運用が行なえるか検討した。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
	・利用時間については、月当たりで上限管理しているが、その算定根拠は変えることなく上限管理を年間ベースで行なうことで、利用者が利用しやすい運用を実施する。			
(3) 改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。